

コロナ禍だからこそ‘魅せて’‘見える’経営を

草津の頑張る企業 Vol 35



セルクルキッチン

所在地：草津市大路1丁目17-7
TEL：090-2356-8554

代表 山田 睦美さん



「手作りパンのある暮らし」をモットーに、2016年から手作りパンとテーブルコーディネート教室を営んでおられるセルクルキッチン代表の山田睦美さん。『専門知識に裏付けられた美味しさ』と『見た目の素晴らしさ』を両立できる女性専門のパン教室として大好評です。

しかし、コロナ禍にあっては思うままに集客できなかったことも事実。山田さんは、このピンチをいかに成長の糧としたのでしょうか。

‘魅せる’

来店せずとも商品の良さを伝えられる『SNS』フル活用

コロナウイルスの影響で一番大きかったものは、やはり対面での営業活動が困難になったこと。新しい生活様式が推奨されるにつれ、商品やサービスの紹介もオンラインやSNSが中心となりました。インスタ映えという言葉は以前から聞かれていましたが、それが本格的に経営にもかかわる時代となったのです。

山田さんはその流れを的確に把握し、SNSをフル活用。顧客に「こんなパンが欲しいな」と魅せるためにたゆまぬ努力をしておられます。「定期的に欠かさず更新することも大事ですが、肝心なのは顧客目線に立ち、見た目の一貫性を持たせること、そして自社のホームページや注文ページに誘導することを忘れないこと。個人のSNSのように、いいねをもらう事が目的では、経営に役立つSNSの使い方とならないので、そこには十分気を付けています」と山田さん。SNSを通じた経営の大きなヒントとなるお話です。



母の日特別商品、ピンクのヒョウ柄パン。見ただけでワクワクします

素敵なパンがずらりと並ぶインスタグラムはこちら



魅せた後は、実際に‘見える’

いいもの発掘市を利用した顧客への直接アピール

SNSがいかに素晴らしくとも、それだけでパンが売れたり、教室に入会してくださることはまれです。SNS

で魅せたあとは、実際に購入していただき、顧客の囲い込みを行わなくてはなりません。そのための一つの機会として、草津商工会議所が開催した商品企画塾の受講を通じ、展示即売会「ふるさと企業いいもの発掘市」に参加されました。

展示即売会では商品を実際に見ていただくことができるのはもちろん、このパンを作っているのはどんな人かな?といった観点からも見ていただくことが可能です。『SNSで素敵なパンがあるのは知っていたけど、実際にお会いできてそれを作っている方の人柄を知ることができ、パン教室入会を決意しました』というお客様もおられるとのこと。オンラインとオフラインを見事に融合させた販路開拓と言えます。



いいもの発掘市での思わず立ち止まる素敵なディスプレイ

更なる企業価値の向上のため

持続化補助金でステップアップ

また、コロナ禍を乗り越えるためには、今までとは違った販路開拓を行うことも必要。山田さんはオンラインでの商品PR力を活かし、遠方の方へも焼きたてパンを届けることができるよう、新しく設備投資を行うと同時に、シーンに応じたお届けものができるよう、様々なパッケージを用意されました。

その際は「小規模企業者持続化補助金」を有効活用され、今後の事業計画の策定はもちろん、資金面での負担も軽減されています。

コロナ禍でもめげることなく様々なことにチャレンジされている山田さん。今後ますますのご活躍が期待されます。

補助金の活用で用意された様々なパッケージ



草津商工会議所では、今回ご紹介した商品企画塾やいいもの発掘市の企画や、SNSを利用した広報活動に対する持続化補助金の申請など、販路拡大支援を実施しています。事業者のみならず是非ご利用ください!